

特定原子力施設検査実施要領書
(使用前検査)

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

工事の工程：構造、強度又は漏えいに係る試験をすることが
できる状態になった時
工事の計画に係る工事が完了した時

対象設備：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備
主要配管

要領書番号：原規規収第 2209071 号 01

令和 4 年 1 0 月

原子力規制委員会

改訂来歴

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所
特定原子力施設検査（使用前検査）

工事の工程：構造、強度又は漏えいに係る試験をすることができる状態になった時
工事の計画に係る工事が完了した時

対象設備：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備
主要配管

要領書番号：原規規収第 2209071 号 01

| 回 | 年 月 日 | 改訂箇所、改訂内容及び改訂理由 |
|---|------------|---|
| — | 令和4年10月12日 | 制定 |
| 1 | 令和4年10月14日 | V. 検査方法 6. 機能検査（1）通水検査 2）検査手順の記載及びVII. 添付資料 2. 関連図書及び詳細手順 資料3. 耐圧・漏えい検査要領（1／3）の2. 検査条件の最高使用圧力の記載の適正化。 |
| | | 以下余白 |

目 次

| | |
|--------------------|---|
| I. 検査目的及び検査項目 | 1 |
| II. 検査対象設備及び範囲 | 1 |
| III. 検査場所 | 1 |
| IV. 実施計画の認可関係 | 2 |
| V. 検査方法 | 2 |
| VI. 判定基準 | 4 |
| VII. 添付資料 | 4 |
| 1. 使用前検査成績書様式 | |
| 2. 関連図書及び詳細手順 | |
| 資料 1. 実施計画（抜粋） | |
| 資料 2. 検査範囲図 | |
| 資料 3. 耐圧・漏えい検査要領 | |
| 資料 4. 機能検査（通水検査）要領 | |

I. 検査目的及び検査項目

本検査は、東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則（以下「規則」という。）第20条第1項の表第一号及び第三号の工事の工程に係る検査項目の使用前検査について、福島第一原子力発電所に係る放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設のうち多核種除去設備の主要配管の工事が認可された実施計画（*1）に従い行われていることを確認するもので、以下の検査（*2）を実施する。

1. 材料検査
2. 寸法検査
3. 外観検査
4. 組立て及び据付け状態を確認する検査（以下「組立・据付検査」という。）
5. 耐圧・漏えい検査
6. 機能検査
 - (1) 通水検査

*1：認可された実施計画とは、原子力事業者等が核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第64条の2第2項の規定に基づき原子力規制委員会に提出し、認可された実施計画

*2：材料検査、寸法検査、外観検査、組立・据付検査、耐圧・漏えい検査は規則第20条第1項の表第一号の工事の工程に係る検査項目である。また、通水検査は規則第20条第1項の表第三号の工事の工程に係る検査項目である。

II. 検査対象設備及び範囲

検査の対象は、実施計画に記載された以下の設備とする。

詳細は、添付資料-2「関連図書及び詳細手順」資料1.「実施計画（抜粋）」を参照のこと。

| 検査対象設備・検査範囲 |
|---|
| 放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設 多核種除去設備 主要配管 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部 (ポリエチレン管) |

III. 検査場所

申請書「検査を受けようとする場所」の欄に記載のとおり。

IV. 実施計画の認可関係

| 認可番号 (認可年月日) | 認可機器 |
|---|---------------------------------------|
| 原規福発第 1308142 号 (平成 25 年 8 月 14 日) 原規規発第 2204281 号 (令和 4 年 4 月 28 日) | 放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設 多核種除去設備 主要配管 |

V. 検査方法

実施計画に基づく検査の方法は以下のとおりである。

共通事項

(1) 使用前検査申請書の確認

- a. 本検査に係る使用前検査申請書(変更申請を含む。)が準備されていることを確認する。
- b. 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。

1. 材料検査

(1) 検査前確認事項

- a. 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。
- b. 必要な図面等が準備されていることを確認する。

(2) 検査手順

実施計画に記載されている材料が使用されていることを申請者の品質記録により確認する。

2. 寸法検査

(1) 検査前確認事項

- a. 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。
- b. 必要な図面等が準備されていることを確認する。

(2) 検査手順

実施計画に記載されている主要寸法を申請者の品質記録により確認する。

3. 外観検査

(1) 検査前確認事項

- a. 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。
- b. 必要な図面等が準備されていることを確認する。

(2) 検査手順

検査対象の外観について、健全性に影響を及ぼす表面のかき傷、クラック、変形等の有害な欠陥がないことを一箇所以上立会し、その他については申請者の品質記録により確認する。

4. 組立・据付検査

(1) 検査前確認事項

- a. 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。
- b. 必要な図面等が準備されていることを確認する。
- c. 現地で施工するフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。

(2) 検査手順

検査対象の組立て状態並びに据付け位置及び据付け状態を一箇所以上立会し、その他については申請者の品質記録により確認する。

5. 耐圧・漏えい検査

(1) 検査前確認事項

- a. 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。
- b. 必要な図面等が準備されていることを確認する。
- c. 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録等により確認する。
- d. 系統構成が適切であることを確認する。

(2) 検査手順

以下について一箇所以上立会し、その他は申請者の品質記録により確認する。

- ・多核種除去設備処理水出口ヘッダ分岐取合 F 0 5 5 バルブ出口より F 9 4 0 4 バルブまで及び F 0 4 0 5 バルブまで

耐圧検査圧力で所定時間保持した後、検査圧力に耐え、異常な変形等が生じていないこと及び耐圧検査終了後、耐圧部からの漏えいがないこと。

- ・ F 9 4 0 4 バルブ出口より増設多核種除去設備既設配管合流部まで及び F 0 4 0 5 バルブ出口より高性能多核種除去設備既設配管合流部まで
運転圧力で耐圧部からの漏えいがないこと。

詳細は、添付資料－2「関連図書及び詳細手順」資料3。「耐圧・漏えい検査要領」を参照のこと。

6. 機能検査

(1) 通水検査

1) 検査前確認事項

- a. 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。
- b. 必要な図面等が準備されていることを確認する。
- c. 系統構成が適切であることを確認する。

2) 検査手順

既設 ALPS 移送ポンプ C を用いてタンクへ通水できることを一箇所以上立会し、その他に

については申請者の品質記録により確認する。

詳細は、添付資料－２「関連図書及び詳細手順」資料４．「機能検査（通水検査）要領」を参照のこと。

VI. 判定基準

1. 材料検査

実施計画の記載とおりにあること。

2. 寸法検査

実施計画の記載とおりにあること。

3. 外観検査

有意な欠陥がないこと。

4. 組立・据付検査

図面のとおり施工・据付していること。

5. 耐圧・漏えい検査

- (1) 多核種除去設備処理水出口ヘッダ分岐取合F 0 5 5バルブ出口よりF 9 4 0 4バルブまで及びF 0 4 0 5バルブまで
最高使用圧力に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部から漏えいがないこと。
- (2) F 9 4 0 4バルブ出口より増設多核種除去設備既設配管合流部まで及びF 0 4 0 5バルブ出口より高性能多核種除去設備既設配管合流部まで
耐圧部から漏えいがないこと。

6. 機能検査

(1) 通水検査

通水ができること。

VII. 添付資料

1. 使用前検査成績書様式

2. 関連図書及び詳細手順

資料 1. 実施計画（抜粋）

資料 2. 検査範囲図

資料 3. 耐圧・漏えい検査要領

資料 4. 機能検査（通水検査）要領

特定原子力施設検査成績書
(使用前検査)

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一原子力発電所

工事の工程：構造、強度又は漏えいに係る試験をすることが
できる状態になった時
工事の計画に係る工事が完了した時

対象設備：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備
主要配管

要領書番号：原規規収第 2209071 号 01

年 月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

1. 施設名 東京電力ホールディングス株式会社 福島第一原子力発電所
2. 検査の種類 東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則第20条第1項の表第一号及び第三号に係る放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設のうち多核種除去設備の主要配管の使用前検査
3. 検査申請 使用前検査申請番号
4. 検査期日 自 年 月 日
至 年 月 日
5. 検査場所
6. 検査実施者 検査実施者一覧表のとおり
7. 検査結果 検査結果一覧表のとおり
8. 添付資料 (1) 検査前確認事項
(2) 材料検査記録
(3) 寸法検査記録
(4) 外観検査記録
(5) 組立・据付検査記録
(6) 耐圧・漏えい検査記録
(7) 機能検査（通水検査）記録
(8) 検査用計器一覧表（立会分）

検査実施者一覧表

| 検査年月日 | 原子力検査官 | 検査立会責任者 | 特記事項 |
|-------|--------|---------|------|
| 年 月 日 | | | |
| 年 月 日 | | | |
| 年 月 日 | | | |

検査結果一覧表

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備

| 検査範囲 | 材料検査 | 寸法検査 | 外観検査 | 組立・据付 検査 | 耐圧・漏えい 検査 | 機能検査 | 備考 |
|------|----------|----------|----------|-------------|--------------|----------|----|
| | | | | | | 通水検査 | |
| 主要配管 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| | | | | | | | |
| | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| | | | | | | | |
| | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| | | | | | | | |
| | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | 年 月 日 | |
| | | | | | | | |

検査前確認事項

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備

検査場所：_____

検査項目：共通事項

| 確認事項 | 確認方法 | 検査年月日 | 結果 | 備考 |
|---|------|----------|----|----|
| 本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていることを確認する。* | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |
| 検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであることを確認する。 | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |
| | 記録 | 年 月 日 | | |

(※) 使用前検査成績書の「3. 検査申請」に申請番号（変更申請番号を含む。）を記載する。

検査前確認事項

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

検査項目：材料検査

| 確認事項 | 確認方法 | 確認対象 | 結果 | 備考 |
|--------------------------|------|-------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。 | 記録 | 品質記録 | | |
| 必要な図面等が準備されていることを確認する。 | 記録 | 実施計画等 | | |

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

検査項目：寸法検査

| 確認事項 | 確認方法 | 確認対象 | 結果 | 備考 |
|--------------------------|------|-------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。 | 記録 | 品質記録 | | |
| 必要な図面等が準備されていることを確認する。 | 記録 | 実施計画等 | | |

検査前確認事項

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

検査項目：外観検査

| 確認事項 | 確認方法 | 確認対象 | 結果 | 備考 |
|--------------------------|------|-------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。 | 記録 | 品質記録 | | |
| 必要な図面等が準備されていることを確認する。 | 記録 | 実施計画等 | | |

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

検査項目：組立・据付検査

| 確認事項 | 確認方法 | 確認対象 | 結果 | 備考 |
|---------------------------------------|------|-------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。 | 記録 | 品質記録 | | |
| 必要な図面等が準備されていることを確認する。 | 記録 | 実施計画等 | | |
| 現地で施工するフランジ部については適切に締め付けられていることを確認する。 | 記録 | 品質記録 | | |

検査前確認事項

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備

検査年月日： 年 月 日

検査場所： _____

検査項目：耐圧・漏えい検査

| 確認事項 | 確認方法 | 確認対象 | 結果 | 備考 |
|---|--------|-----------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。 | 記録 | 品質記録 | | |
| 必要な図面等が準備されていることを確認する。 | 記録 | 実施計画等 | | |
| 使用する検査用計器が必要な測定範囲及び精度を有し、校正が適切に行われ、有効期限内であることを校正記録等により確認する。 | 記録 | 校正記録等 | | |
| 系統構成が適切であることを確認する。 | 立会又は記録 | 現場又は品質記録等 | | |

検査前確認事項

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設
多核種除去設備

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

検査項目：機能検査（通水検査）

| 確認事項 | 確認方法 | 確認対象 | 結果 | 備考 |
|--------------------------|--------|-----------|----|----|
| 申請者の品質記録が準備されていることを確認する。 | 記録 | 品質記録 | | |
| 必要な図面等が準備されていることを確認する。 | 記録 | 実施計画等 | | |
| 系統構成が適切であることを確認する。 | 立会又は記録 | 現場又は品質記録等 | | |

材料検査記録

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

多核種除去設備

検査対象：主要配管

| 検査範囲 | 材料 | 判定基準 | 結果 |
|--|--------|-------------------|----|
| 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部（ポリエチレン管） | ポリエチレン | 実施計画の記載のとおりであること。 | |
| <p>備 考</p> <p>申請者の品質記録により確認 品質記録（名称、日付）：</p> | | | |

寸法検査記録

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

多核種除去設備

主要配管：主要配管

| 検査範囲 | 実施計画記載値 | 判定基準 | 結果 |
|--|---------|-------------------|----|
| 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部（ポリエチレン管） | 100A 相当 | 実施計画の記載のとおりであること。 | |
| <p>備考</p> <p>申請者の品質記録により確認</p> <p>品質記録（名称、日付）：</p> | | | |

外観検査記録

検査年月日：_____年　　月　　日

検査場所：_____

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

多核種除去設備

検査対象：主要配管

| 検査範囲 | 判定基準 | 結果 |
|---|-------------|----|
| 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部（ポリエチレン管） | 有意な欠陥がないこと。 | |
| <p>備 考</p> <p>*は立会を示す。それ以外は申請者の品質記録により確認 品質記録（名称、日付）：</p> | | |

組立・据付検査記録

検査年月日：_____年　　月　　日

検査場所：_____

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

多核種除去設備

検査対象：主要配管

| 検査範囲 | 判定基準 | 結果 |
|--|--------------------|----|
| 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部（ポリエチレン管） | 図面のとおり施工・据付していること。 | |
| <p>備考</p> <p>*は立会を示す。それ以外は申請者の品質記録により確認 品質記録（名称、日付）：</p> | | |

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：_____年　　月　　日

検査場所：_____

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

多核種除去設備

検査対象：主要配管

| 検査範囲 | 最高使用圧力 (MPa) | 検査圧力 (MPa) | 保持時間 (分) | 結果 |
|---|-----------------|---------------|-------------|----|
| 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部（ポリエチレン管） <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 多核種除去設備処理水出口ヘッダ分岐取合F055バルブ出口よりF9404バルブまで及びF0405バルブまで </div> | 0.98 | | | |
| 判定基準 最高使用圧力に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部から漏えいがないこと。 | | | | |
| 備考 耐圧・漏えい検査の方法：水圧 ＊は立会を示す。それ以外は申請者の品質記録により確認 品質記録（名称、日付）： | | | | |

耐圧・漏えい検査記録

検査年月日：_____年　　月　　日

検査場所：_____

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

多核種除去設備

検査対象：主要配管

| 検査範囲 | 判定基準 | 結果 |
|--|----------------|----|
| 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部（ポリエチレン管） [F 9 4 0 4 バルブ出口より増設多核種除去設備既設配管合流部まで及び F 0 4 0 5 バルブ出口より高性能多核種除去設備既設配管合流部まで] | 耐圧部から漏えいがないこと。 | |
| 備 考 耐圧・漏えい検査の方法：水圧 ＊は立会を示す。それ以外は申請者の品質記録により確認 品質記録（名称、日付）： | | |

機能検査（通水検査）記録

検査年月日：_____年____月____日

検査場所：_____

設備名：放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

多核種除去設備

検査対象：主要配管

| 検査範囲 | 判定基準 | 結果 |
|--|-----------|----|
| 多核種除去設備出口から処理済水貯留用タンク・槽類までの一部（ポリエチレン管） | 通水ができること。 | |
| <p>備考</p> <p>*は立会を示す。それ以外は申請者の品質記録により確認 品質記録（名称、日付）：</p> | | |

検査用計器一覧表（立会分）

検査年月日：_____年____月____日

| 検査項目 | 計器名称 | 計器番号 | 校正年月日 有効期限 | 備考 |
|------|------|------|---------------|----|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

関連図書及び詳細手順

- 資料 1. 実施計画（抜粋）
- 資料 2. 検査範囲図
- 資料 3. 耐圧・漏えい検査要領
- 資料 4. 機能検査（通水検査）要領

注）資料 1. は実施計画の情報をもとに作成、資料 2. 資料 3. 及び資料 4. は申請者の情報をもとに作成した資料である。

実施計画 (抜粋)

2.16 放射性液体廃棄物処理施設及び関連施設

2.16.1 多核種除去設備

2.16.1.1 基本設計

2.16.1.1.5 主要な機器

多核種除去設備は、3系列から構成し、各系列は前処理設備と多核種除去装置で構成する。さらに共通設備として、前処理設備から発生する沈殿処理生成物及び放射性核種を吸着した吸着材を収容して貯蔵する高性能容器、薬品を供給するための薬品供給設備、処理済水のサンプリング、多核種処理水タンクへ移送する多核種移送設備、多核種除去設備の運転監視を行う監視制御装置、電源を供給する電源設備等で構成する。なお、2系列運転で定格処理容量を確保するが、RO濃縮塩水の処理を早期に完了させる観点から、3系列同時運転も可能な構成とする。また、装置の処理能力を確認するための試料採取が可能な設備とする。

(1) 多核種除去設備

g. 多核種移送設備

多核種移送設備は、多核種除去設備で処理された水を採取し、分析後の水を処理済水貯留用のタンクに移送するための設備で、サンプルタンク、多核種除去設備用処理済み水移送ポンプおよび移送配管で構成する。

2.16.1.2 基本仕様

2.16.1.2.1 主要仕様

(34) 配管

主要配管仕様 (3 / 4)

| 名称 | 仕様 | |
|--|-----------------------------------|---|
| 多核種除去設備出口から 処理済水貯留用タンク・槽類※ま で (ポリエチレン管) | 呼び径 材質 最高使用圧力 最高使用温度 | 100A 相当 ポリエチレン 1.0MPa 1.15MPa 40℃ |
| <u>(ポリエチレン管)</u> | 呼び径 材質 最高使用圧力 最高使用温度 | <u>100A 相当</u> 150A 相当 200A 相当 <u>ポリエチレン</u> 0.98MPa 40℃ |

多核種除去設備に係る確認事項

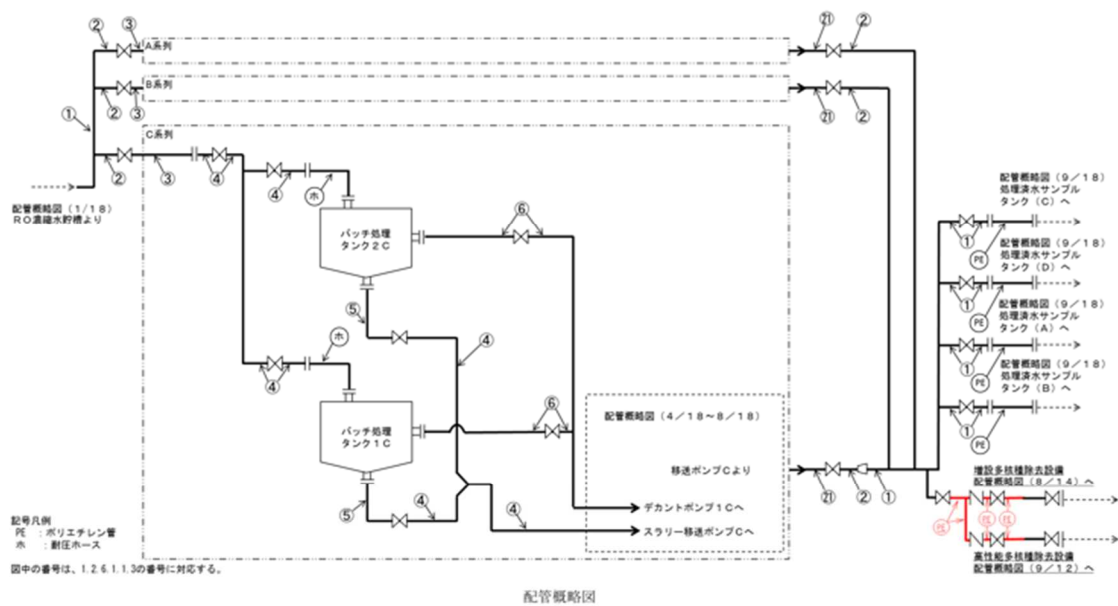
多核種除去設備に係る主要な確認事項を表-1～14に示す。

表-8 確認事項 (ポリエチレン管)

| 確認事項 | 確認項目 | 確認内容 | 判定基準 | |
|--------------------------------------|--------------------|---|---|--|
| 構造強度 ・耐震性 | 材料確認 | 実施計画に記載した材料について、製品検査成績書により確認する。 | 実施計画の記載とおりにあること。 | |
| | 寸法確認 | 実施計画に記載した主要寸法（外径相当）について、製品検査成績書により確認する。 | 実施計画の記載とおりにあること。 | |
| | 外観確認 | 各部の外観について、立会いまたは記録により確認する。 | 有意な欠陥がないこと。 | |
| | 据付確認 | 機器が図面のとおり据付していることを立会いまたは記録により確認する。 | 図面のとおり施工・据付していること。 | |
| | 耐圧・ 漏えい確認 注1 | | ①：最高使用圧力以上で一定時間保持後、同圧力に耐えていること、また、耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録により確認する。 | 最高使用圧力に耐え、かつ構造物の変形等がないこと。また、耐圧部から漏えいがないこと。 |
| | | | ②：気圧により、耐圧部からの漏えいのないことを立会いまたは記録で確認する。 | |
| ③：運転圧力で耐圧部からの漏えいがないことを立会いまたは記録で確認する。 | | | | |
| 機能・性能 | 通水確認 | 通水ができることを立会いまたは記録により確認する。 | 通水ができること。 | |

注1：耐圧漏えい確認は、①②③のいずれかとする。

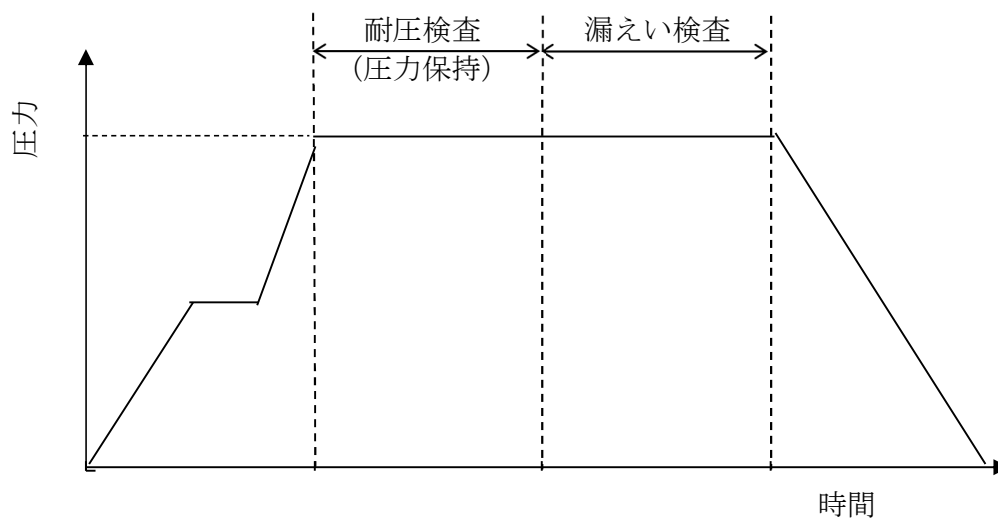
検査範囲図



— 検査範囲

耐圧・漏えい検査要領

1. 昇降圧曲線



2. 検査条件

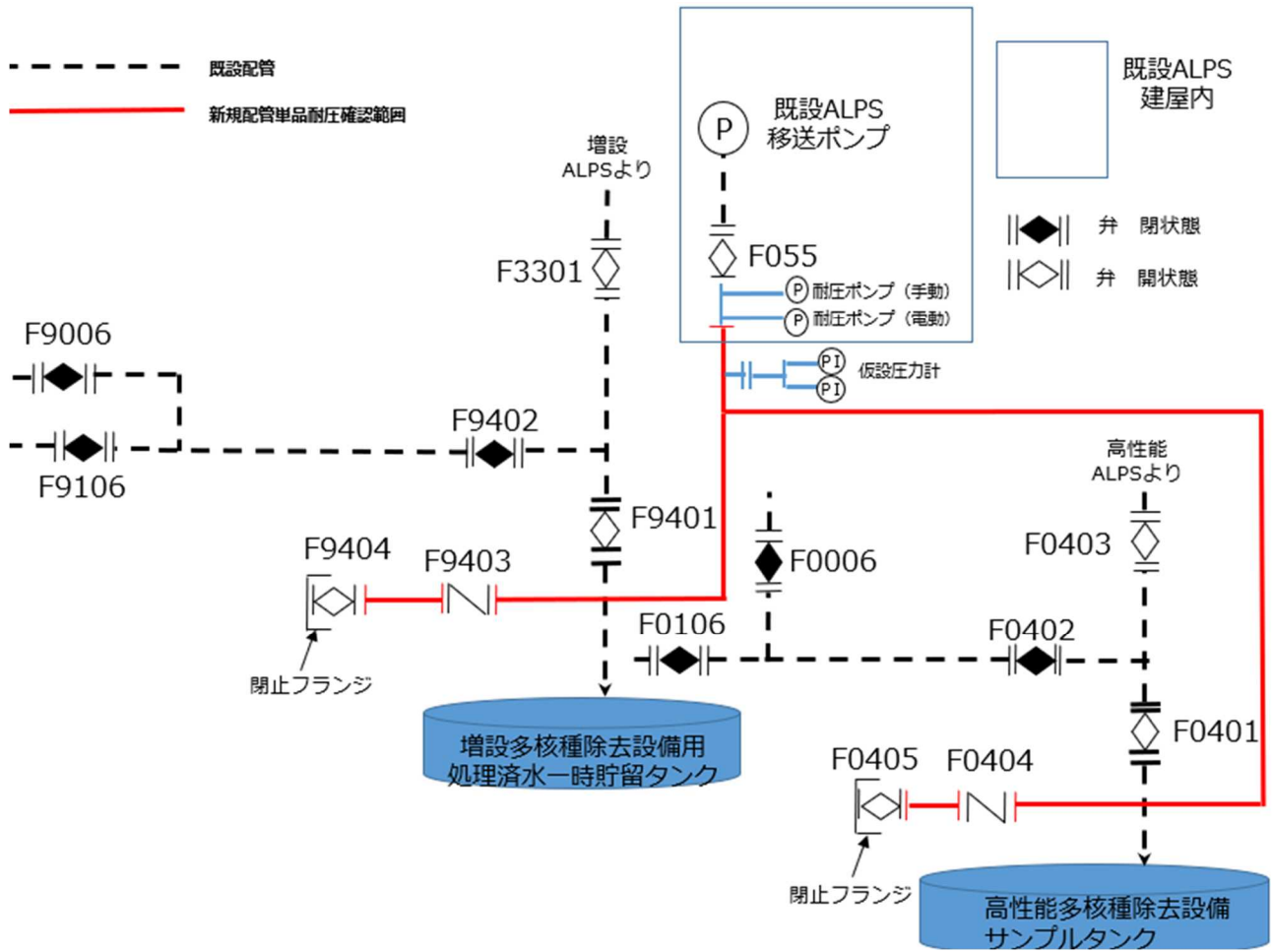
| 検査範囲 | 最高使用圧力 (MPa) | 耐圧検査圧力 漏えい検査圧力 (MPa) | 耐圧検査保持時間 (分) | 水圧・気圧の区分 |
|--|--------------|-------------------------|--------------|----------|
| 多核種除去設備処理水出口ヘッダ分岐 取合F055バルブ出口よりF940 4バルブまで及びF0405バルブま で | 0.98 | 0.98 ※1 | 60 | 水圧 |
| F9404バルブ出口より増設多核種 除去設備 既設配管合流部まで及びF 0405バルブ出口より高性能多核種 除去設備既設配管合流部まで | 0.98 | 運転圧 | — | 水圧 |

(注記)

※1 最高使用圧力を考慮して決定。

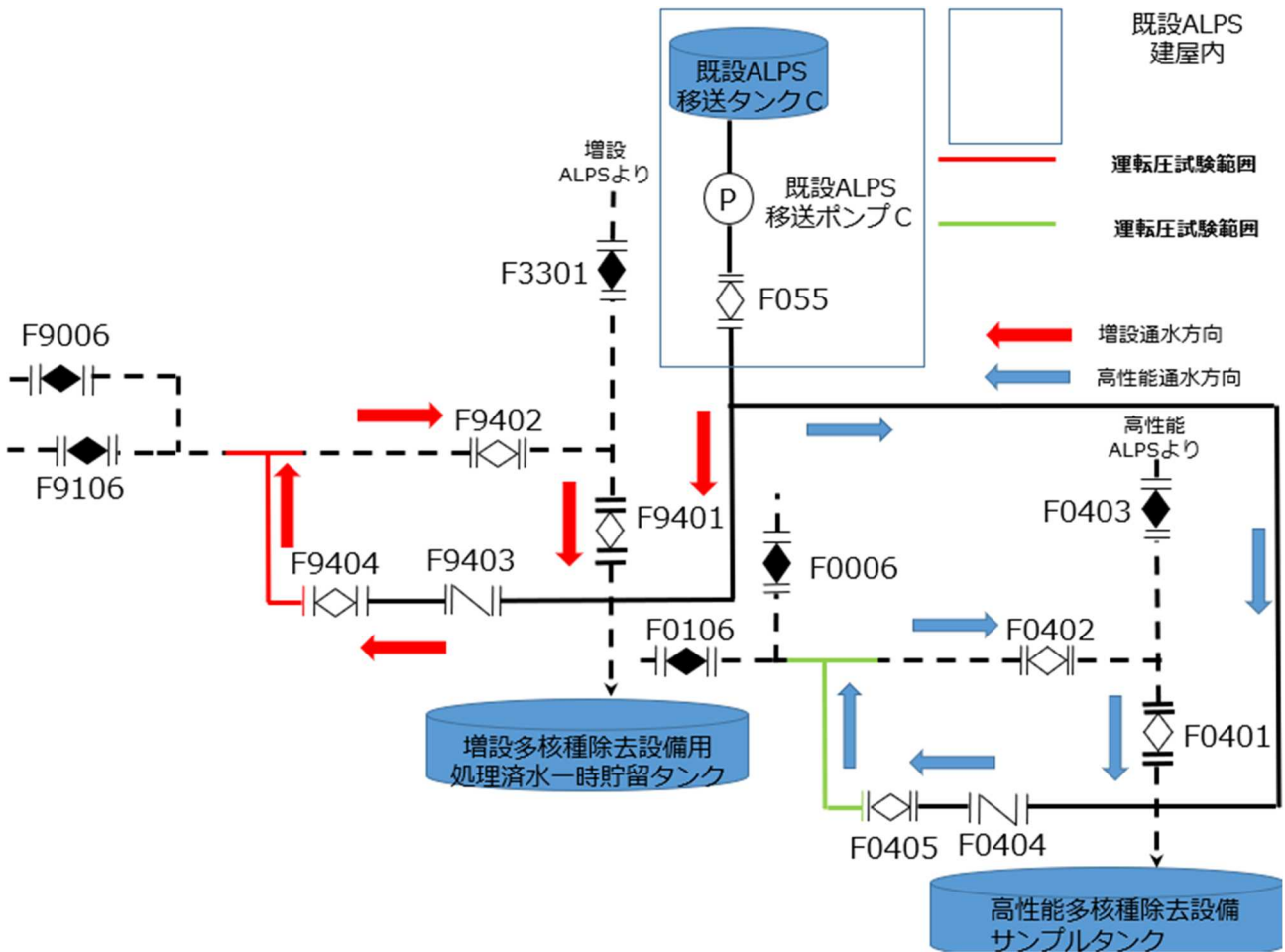
耐圧・漏えい検査

(多核種除去設備処理水出口ヘッダ分岐取合F055バルブからF9404バルブまで及びF0405バルブまで)



耐圧・漏えい検査

(F9404バルブ出口より増設多核種除去設備既設配管合流部まで及びF0405バルブ出口より高性能多核種除去設備既設配管合流部まで)



機能検査（通水検査）要領

- ① 既設 ALPS 移送タンク C に入水溜める。
- ② 増設多核種除去設備用処理済水一時貯留タンク及び高性能多核種除去設備サンプルタンクに通水するラインを準備する。
- ③ 既設 ALPS 移送ポンプ C を起動する。免震重要棟において増設多核種除去設備用処理済水一時貯留タンク及び高性能多核種除去設備サンプルタンクの水位が増えることを確認する。

通水試験範囲図

